

# 第7章 教 育

## 第1節 教育委員会

### 1 教育委員会

委員会は、定例会を12回、臨時会を9回招集し、議案件数は24件であった。

### 2 教育基本構想

「沼津市教育基本構想」を、沼津の教育の方向性を明確にし、教育施策を総合的に進めていくための指針として平成21年1月に策定し、その後の社会的環境の変化に伴い平成27年3月に改訂した。この基本構想では、「明日の社会を担う『夢ある人』づくり」を目的と定めている。

基本構想に示した理念の具現化を図るため、平成28年4月に沼津市教育基本構想実施計画（平成28年度～令和2年度）を作成し、計画に基づき具体的な施策を実施している。

### 3 総合教育会議・教育大綱

総合教育会議は、平成27年に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により設置されたもので、市長と教育委員会によって構成されており、教育大綱の策定や「教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策」等について協議・調整を行う。

本年度は総合教育会議を1回開催し、沼津の教育や、学校規模・学校配置の適正化について協議した。

### 4 学校規模・学校配置適正化推進事業

全国的に少子高齢化が進み、本市においても地域によって児童生徒数の減少や増加により、学校規模の差が大きくなっている。今後は、学校の規模や配置の適正化を図りながら、よりよい教育環境の整備や教育の質の更なる充実を図ることがこれまで以上に重要となる。

そこで、学校は教育の場であるとともに地域交流の拠点であることから、「まちづくり」の観点を加え、今後30年間の方向性を示した「沼津市立小・中学校の適正規模・適正配置の基本方針」を平成29年度に策定し、取組を進めている。

本年度は戸田地区において、地区推進委員会を5回開催し、校名・校歌・校章・制服等の検討事項について協議するとともに、「戸田地区小中一貫学校基本計画」を策定し、新校舎の実設計を行った。さらに児童生徒や未就学児の保護者に対しては説明会を実施した。また長井崎

中学校区においては、地区推進委員会を5回開催して統合（一貫校化）の方針決定に向けて協議を行うとともに、児童を対象とした登下校体験を2回実施した。さらに児童生徒や未就学児の保護者に対しては説明会と統合（一貫校化）に関する意識調査を実施した。第二中学校区においては、児童生徒や未就学児の保護者に対して説明会を実施した。

## 第2節 学校の運営・管理

5月1日現在における市立の学校・幼稚園数、学級数、教職員数（兼務者除く）、児童・生徒・園児数は次のとおりであった。

区 分	学校・幼稚園数	学 級 数	教 職 員 数	児童・生徒・園児数
小 学 校	24 校	340 学級	683 人	8,613 人
中 学 校	18	172	449	4,736
高 等 学 校	1	15	61	605
幼 稚 園	2 園	6	13	44

### 1 小 学 校

門池小学校南西校舎整備工事、第一小学校スチームコンベクション設置工事、第五小学校他15校校舎ガラス飛散防止フィルム貼付工事、第一小学校他6校トイレ洋式化整備工事、開北小学校他1校特別教室空調設備整備工事、戸田小学校他6校ブロック塀撤去・フェンス設置工事のほか、各小学校の営繕工事等を実施し、さらに、全小学校普通教室等空調設備整備工事等に着手した。また、要保護及び準要保護家庭の児童の保護者に対し、就学援助費を支給するとともに、特別支援学級児童の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費を支給した。

#### (1) 経常費の状況

年 度	学 級 数	児 童 数	決 算 額	1学級当たりの額 金	1人当たりの金額
30	340 学級	8,613 人	1,430,999 千円	4,208,820 円	166,145 円
29	342	8,884	1,456,200	4,257,896	163,913

## (2) 経常費の児童1人当たりの状況

(単位 円)

年 度	人 件 費	物 件 費	維持補修費	そ の 他	計
30	36,615	93,231	26,841	9,458	166,145
29	38,432	85,321	30,572	9,588	163,913

## (3) 要保護及び準要保護児童の就学援助費

区 分	児 童 数	金 額
学用品購入費・校外活動費等	1,020 <sup>人</sup>	12,524,648 <sup>円</sup>
修 学 旅 行 費	183	4,876,205
通 学 費		
新入学児童学用品費等	85	3,090,766
学 校 給 食 費	867	40,470,571
医 療 費		
30 年 度	2,155	60,962,190
29 年 度	2,129	59,358,769

## (4) 特別支援学級児童の特別支援教育就学奨励費

区 分	児 童 数	金 額
学用品購入費・校外活動費等	83 <sup>人</sup>	374,380 <sup>円</sup>
修 学 旅 行 費	5	52,808
通 学 費	21	590,090
新入学児童学用品費等	8	140,480
学 校 給 食 費	72	1,654,446
30 年 度	189	2,812,204
29 年 度	188	2,892,200

## 2 中 学 校

金岡中学校屋内運動場改築工事、今沢中学校給湯器設置工事、門池中学校北校舎屋上防水改修工事、第一中学校他5校トイレ洋式化整備工事、第二中学校他2校特別教室空調設備整備工事、金岡中学校他3校ブロック塀撤去・フェンス設置工事、市立高校中等部エントランスホール天井改修工事のほか、各中学校の営繕工事等を実施し、さらに、静浦中学校及び戸田中学校の普通教室等空調設備整備工事等に着手した。また、要保護及び準要保護家庭の生徒の保護者に対し、就学援助費を支給するとともに、特別支援学級生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費を支給した。

### (1) 経常費の状況

年 度	学 級 数	生 徒 数	決 算 額	1学級当たりの 金 額	1人当たりの金額
30	172 <sup>学級</sup>	4,736 <sup>人</sup>	867,087 <sup>千円</sup>	5,041,203 <sup>円</sup>	183,084 <sup>円</sup>
29	175	4,853	827,005	4,725,744	170,411

### (2) 経常費の生徒1人当たりの状況

(単位 円)

年 度	人 件 費	物 件 費	維持補修費	そ の 他	計
30	33,690	101,682	32,120	15,592	183,084
29	29,971	95,704	28,722	16,014	170,411

### (3) 要保護及び準要保護生徒の就学援助費

区 分	生 徒 数	金 額
学用品購入費・校外活動費等	747 <sup>人</sup>	13,655,776 <sup>円</sup>
修 学 旅 行 費	188	10,244,811
通 学 費		
新入学生徒学用品費等	155	7,347,000
学 校 給 食 費	525	28,531,665
医 療 費		
30 年 度	1,615	59,779,252
29 年 度	1,663	59,882,862

(4) 特別支援学級生徒の特別支援教育就学奨励費

区 分	生 徒 数	金 額
学用品購入費・校外活動費等	57 人	296,703 円
修 学 旅 行 費	11	254,401
通 学 費	7	232,510
新入学生徒学用品費等	13	300,550
学 校 給 食 費	41	1,158,645
30 年 度	129	2,242,809
29 年 度	135	2,338,046

### 3 高 等 学 校

中高一貫教育の利点を生かし、6年間を通じた教育の充実に努めた。また、エントランスホール天井改修工事等を実施した。

(1) 経常費の状況

年 度	学 級 数	生 徒 数	決 算 額	1学級当たりの 金 額	1人当たりの金額
30	15 <sup>学級</sup>	605 <sup>人</sup>	540,774 <sup>千円</sup>	36,051,600 <sup>円</sup>	893,841 <sup>円</sup>
29	15	599	540,299	36,019,933	902,002

(2) 経常費の生徒1人当たりの状況

(単位 円)

年 度	人 件 費	物 件 費	維持補修費	そ の 他	計
30	718,333	139,141	34,021	2,346	893,841
29	729,354	157,683	13,538	1,427	902,002

## 4 幼稚園

心豊かで思いやりのある園児の育成に努めた。

### (1) 経常費の状況

年 度	学 級 数	園 児 数	決 算 額	1学級当たりの 金 額	1人当たりの金額
30	6 <sup>学級</sup>	44 <sup>人</sup>	83,436 <sup>千円</sup>	13,905,996 <sup>円</sup>	1,896,272 <sup>円</sup>
29	6	50	78,864	13,144,044	1,577,285

### (2) 経常費の園児1人当たりの状況

(単位 円)

年 度	人 件 費	物 件 費	維持補修費	そ の 他	計
30	1,338,722	551,228	4,543	1,779	1,896,272
29	1,091,948	466,640	17,086	1,611	1,577,285

## 第3節 学 校 教 育

### 1 「チーム学校」実現事業

各学校が、地域性や学校の独自性を生かした特色ある教育活動を通して中期計画を達成するために、各学校が必要とする支援員を配置した。また、地域交流の推進と外部人材の活用を図る事業を、各学校の要望に応じて支援することを目的に、本年度は、小学校23校、中学校17校、小中一貫学校1校の各学校で行われた141の事業に交付金を交付した。

#### (1) 支援員配置事業

- 児童生徒支援員
- 図書館支援員（学校司書）
- 外国人児童生徒支援員
- 複式学級支援員
- 放課後学習支援員

○日本語学習支援員

(2) 地域交流推進・外部人材活用事業

○地域人材を活用した体験学習事業

○地域人材を活用した講演会事業

○地域の高校生を活用した交流事業

○校外学習支援事業

○高い能力や技能を有する人材を活用した事業

## 2 言語教育による表現力・読解力育成事業

国の承認を受けた特別な教育課程「言語科」の授業を中心に、言葉を用いて人と積極的に関わる態度や論理的な思考力、表現力が高まる言語教育の推進及び読書活動の充実による読書力、読解力の向上を図ることを目標としている。

「言語科」は「読解の時間」と「英語の時間」からなり、「読解の時間」においては、様々なテキスト等から、子どもたちが自ら課題を発見し、人と関わり合いながら解決に向かっていくプロセスを大切にして、思考力、判断力、表現力の育成に努めた。「英語の時間」においては、小・中学校（中等部を除く）にALT（外国語指導助手）を配置し、英語や異文化に親しみながら、英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に努めた。

前年度から新しくなった「言語科」副読本の活用により、思いや考えを伝え合う授業の充実を図り、児童生徒の読解力の向上に努めた。

## 3 沼津まるとイングリッシュ事業

沼津市教育大綱に掲げる「コミュニケーション能力の向上を図り、国際感覚を豊かにする教育」を具現化するため、子どもの英語によるコミュニケーションへの自信や興味、関心、意欲を高めていくことを目的に、オールイングリッシュによる1泊2日のイベントを開催し、小学校5・6年生の児童50人が参加した。

また、「言語科」で9年間英語を学び伸ばしてきた自らの英語力を確認する機会とするとともに、学習意欲の向上を図るため、中学校全学年を対象に中学校卒業程度の英語力を必要とする英検3級の本会場、準会場検定料の1/2を補助し、633人の生徒が利用した。

## 4 中高一貫教育

沼津市立沼津高等学校・中等部は、中高一貫教育校として6年間の計画的、継続的な教育を



通し、生徒個々の自己実現を図ることを目標に、生徒の学力向上や個性を伸ばす教育を活発に展開した。

## 5 情報教育

小・中学校40校の情報機器の更新等を行った。

また、沼津市立小中高等学校ネットワーク協議会によるICT機器の活用と情報モラル向上のための研究に努めた。

## 6 教職員の研修

指導主事の計画訪問により各校の校内研修の推進を図った。

また、教職員研修センターが進める研修会及び個別指導訪問により、小・中学校に勤務する教職員の資質向上を図った。

## 7 教科指導研究

小・中学校の教員から、教科等指導リーダー28人、研究員74人を選任し、教科等ごとのチームで研究を推進した。各研究チームは授業研究の成果による公開授業及び研究協議等を行い、年度末に研究のまとめを学校間ネットワーク上に公開し全職員が閲覧できるようにした。

県の教科等指導リーダー研修は前年度をもって終了したが、本市では、各研究チームが活発な活動を継続しており、本年度は、学習指導要領の改訂を踏まえた研究成果が多く報告された。

## 8 教職員人事

明日の社会を担う「夢ある人」づくりを目指して、学校や地域の実態及び教育課題に基づいた学校づくりや、信頼に応える教育の実現を目指す組織づくりに向け、年度末人事異動の内申を行った。

総 数 252人（小学校143人、中学校109人）

## 9 保健体育

児童生徒の体力づくりを進めるため、中学校体育大会（7月～8月）、新体力テスト（4月～10月）など各種の体育行事を実施した。

健康管理については、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱し、児童生徒の疾病の予防指導、治療の奨励を行うとともに、結核検診、尿検査、心臓疾患の検査及び生活習慣病予防検診

を実施した。

## 10 性 教 育

児童生徒をとりまく環境の変化に対応するため、教育委員会が作成した性教育に関する手引書「自らの生き方を考える」をもとに、各学校で性教育を行った。

## 11 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置

児童生徒が心の悩みや不安、ストレスなどを和らげ、心にゆとりをもって安心して学校生活を送れるようにするために、全小・中学校にスクールカウンセラーを配置した。

また、学校や家庭環境等に問題を抱える児童生徒及び保護者を支援するため、スクールソーシャルワーカー2人を配置した。

## 12 学 校 給 食

学校給食を学校教育の一環としてとらえ、児童生徒の健康増進と豊かな人間性形成を目指して、家庭との連携をとりながら、給食内容の充実、多様化を図り、望ましい食習慣の育成に努めるとともに、家庭における正しい食事の在り方の理解を深めるため、「給食だより」を作成し家庭に配布した。

給食指導、栄養管理、衛生管理については、研修会などを実施し、栄養教諭、栄養士、調理師等の資質の向上と業務の円滑な推進に努めた。また、食育の視点から、学校給食における地場産物の活用を進めるとともに、小・中学校の児童生徒に茶葉を配布し、静岡茶の愛飲推進を図った。

## 13 特別支援教育

心身に障害のある幼児児童生徒に対し、就学支援委員会の適正な就学支援を実施し、知的障害学級、自閉症・情緒障害学級、通級指導教室において、障害の種類、程度により個に応じたきめ細かな指導に努めた。

また、臨床心理士等を含む専門家チームが小・中学校を巡回し、教師や保護者の相談に応じるなどして、支援の充実を図った。

## 14 幼 児 教 育

市内の幼稚園・保育園の連携を高めるため、「沼津市幼児教育研究協議会」の活動として、研

修会を実施した。

また、各種の交流活動を通して、幼稚園・保育園と小学校の相互の理解を深めた。

幼稚園の就園奨励については、保護者の経済的負担を軽減するため、保育料の一部を減免する補助金を私立幼稚園の設置者に交付しており、国の実施する保育料の軽減施策のほか、沼津市独自の保育料軽減施策として3人以上の子育てをする世帯を対象に、第2子の保育料軽減、第3子以降の保育料無償化を実施し、1,844人分、227,024千円の補助金を交付した。

このほか、私立幼稚園の教職員の資質向上を図るため、16園に20,860千円を補助し、幼児教育の振興支援を行った。

## 15 児童生徒の発表会

児童生徒研究作品展（9月）を行い、児童生徒の創意工夫、創造力の育成を図ったほか、日頃の学習成果を発表する場として、中学校英語弁論大会（9月）、小・中学校美術展（平成31年1月）を開催した。

## 16 育英奨学金

沼津市育英条例に基づき、奨学生選考委員会を開催して、新たに10人を選考した。その結果、1人月額1万円の奨学金を36人の大学生に交付して勉学の奨励に努めた。

## 17 児童生徒の安全指導

小・中学校では、学級活動などの時間を利用した通学路の確認や自転車の乗り方などの交通マナー教育を通し、安全指導の徹底を図った。

また、地域や関係機関との連携を図り、児童生徒の安全確保に努めた。

沼津市通学路安全推進連絡協議会を設置し、安全対策を専門とする有識者から助言を得ながら、関係機関と連携して通学路の安全対策を講じた。

## 18 隣接校選択制度

小・中学校入学時及び転入・転居の際に、居住地のある通学区域の学校以外に、隣接する学校も選択できる隣接校選択制度は、小学校で新年度入学児童1,319人のうち94人、中学校で入学生徒1,555人のうち113人が利用した。

## 19 小中一貫教育

静浦小中一貫学校では大きな志やビジョンを持つ「夢ある人」を育てるために、子どもの育ちの視点から9年間をとらえ、連続性を生かした教育により「生きる力」を育む小中一貫教育の推進に取り組んでいる。

さらに、本年度からの2年間、全ての市立小中学校（中等部を除く）を研究指定校に指定し、小中合同の会議、研修、中学校区単位での地域連携、小中乗り入れ授業等を行った。

## 20 学力保証プログラム事業

「学習指導改善調査実施事業」「研究指定校事業」の2つの事業を通して、子どもたちの学力を保証していくことを目的としている。

「学習指導改善調査実施事業」では、小学校5年生の全員を対象とした標準学力調査（国語、算数の2教科）を実施し、その結果に基づき授業改善に努めた。「研究指定校事業」では、「学力パワーアップ研究事業」において小学校1校、中学校1校、「小中一貫教育研究事業」において静浦小中一貫学校が、中間研究発表会を開き、5年間の研究をまとめた。

# 第4節 社会教育

## 1 社会教育委員会

教育委員会の委嘱により、社会教育に関する調査・研究・検討や諮問に対する答申、意見具申などを行う、10人の委員からなる諮問機関であり、本年度は、平成29年11月に教育委員会から諮問された「沼津市における学校を支える地域と社会教育について」への答申に向けて調査や検討を重ねるとともに、各種研修会にも参加した。

## 2 生涯学習

市民の学習に対する意欲を支え、学習の場を提供するとともに、生涯学習を基幹とした社会教育活動を推進した。

### (1) 生涯学習の推進

「生涯学習情報コーナー」（市立図書館内に設置）において、県内の市町情報のほか、生涯学習についての各種情報を提供した。また、生涯学習を推進するためのイベントとして「さ

んさん学習フェスティバル」を開催した。

#### ア 学習情報の提供

さまざまな学習情報を広く市民に提供するため、生涯学習情報紙「さんさんだより」を偶数月500部発行し、市内各連合自治会、地区センター等に配布した。

#### イ 生涯学習推進イベントの開催

市民の生涯学習活動の成果を発表する場を提供するとともに、生涯学習の啓発と普及を図るため、11月17日から18日まで、市民文化センターを会場に舞台演技、展示、手づくり遊び、プレゼンテーションの4部門を設け、「第28回さんさん学習フェスティバル」を開催した。

参加団体 73団体・個人      来場者数 5,467人

### (2) 地域における生涯学習の推進

地域における学習活動を推進するため、各連合自治会単位に設置している「生涯学習地域推進員」を通じ、地域との連携を図るとともに、相互の情報交換や講座・講演会の開催等に協力を得た。

#### ア 地域学習講師の派遣

各地域の団体やグループの学習活動を支援するため、その学習に合った講師や指導者を派遣し、地域学習を支援した（派遣回数22回）。

#### イ 学校開放

小・中学校の特別教室等を地域における生涯学習の場として活用するため、小学校9校と中学校2校で学校開放を実施した。

利用登録団体 98団体      利用者数 延べ34,327人

#### ウ 出前講座

市民の学習ニーズに応えるため、市職員を講師として派遣する出前講座を開催し、学習機会の拡大を図った。

講座数 70講座      開催数 126回  
受講者数 4,330人

#### エ まちの識者

特技や知識を持っている方々を「まちの識者（地域学習指導者）」として人材登録し、市民からの学習指導者紹介の要請に応じた。

登録者 延べ125人 紹介件数 79件  
 受講者数 3,104人

#### オ イングリッシュデビュー事業

英語の習得には乳幼児期から英語に慣れ親しむことが重要であることから、英語に触れるきっかけづくりとして、0～3歳児とその保護者を対象とした英語教室を開催した。

開催数 12回（市内3会場で4教室を開催し、1教室につき3回実施。）  
 受講者数 延べ851人（401組）

### 3 成人教育

#### (1) 市民大学

「豊かな未来をひらく」をメインテーマとして、価値観が多様化する現代社会の中で、市民の生涯学習活動を助長することを目的として、講師を招き、広い視野と新たな視点を提供した。

	日程	テ ー マ ・ 講 師	出席者数 (人)
1	6.23	私をつくる世界の広さと歴史の深さ 漫画家・随筆家 ヤマザキマリ	370
2	6.30	若者消費から見る今後の日本の消費～来る平成の次の時代に向けて～ 博報堂ブランドデザイン若者研究所リーダー 原田 曜平	298
3	7.14	人工知能の現在と未来～機械は人間を超えるか～ 静岡大学情報学部行動情報学科准教授 狩野 芳伸	287
4	7.21	自分が変われば 世界が変わる 東京大学名誉教授 養老 孟司	342
5	8.7	時代を読み解く～正しい判断は正しい情報から～ ニュースキャスター 辛坊 治郎	738
6	8.25	障がい者スポーツにおける医学サポートの現場から 筑波大学医学医療系准教授 羽田 康司	202
7	9.1	沼津の学校はじめて物語 明治史料館学芸員 木口 亮	242
8	9.9	次世代技術が切り拓くこれからの農業 慶應義塾大学環境情報学部教授 AOI機構統括プロデューサー 神成 淳司	215
9	9.18	語彙力とコミュニケーション力 明治大学文学部教授 齋藤 孝	744
			延べ 3,438

## (2) 高齢者教育

生涯学習の一環として、高齢者が心豊かに明るく健康な生活を送るとともに、仲間と語り合い、生きがいを求める場として、65歳以上の市民を対象とした高齢者学級を開設した。

開設学級 万年青大学10学級（現役5学級、継続5学級）

寿大学16学級（愛鷹、原、浮島、日枝、大岡、内浦、橘西浦、香南、我入道、第三中、大平、金岡、片浜東部、片浜西部、今沢、門池）

期 間 4月～平成31年3月 学級生数 1,733人 学習回数 各大学とも年間12回  
また、学習のほかクラブ活動として、体力づくり、ダンス、詩吟、コーラス、俳句ほかを大学毎に自主的に行った。

## (3) 家庭教育

### ア 家庭教育講座

幼児期から思春期までの子どもの心身の発達や親の望ましいあり方等について学ぶ講座を開催した。

#### (ア) 自信がもてる子育て講座

開催数 春期、秋期各5回 受講者数 延べ815人

#### (イ) 家庭教育講演会

受講者数 70人

### イ 家庭教育講座支援事業

すべての教育の原点である家庭教育力向上を目的として開催される、家庭教育に関する学習会へ講師を派遣した。

派遣回数 10回

## 4 青少年対策

### (1) 青少年問題協議会

青少年対策にかかわりのある機関・団体及び行政の代表12人で構成されている青少年問題協議会を、年2回開催し、青少年の社会参画について意見交換を行った。

### (2) 青少年を健やかに育てる会

青少年健全育成を主眼に、地域組織として18地区に設置されている「青少年を健やかに育てる会」は、育成部・補導部により積極的な地域ぐるみの活動を行った。

また、地域の団体・機関等が密接に連携・協調し、各地区において健全育成についての懇談会・講演会等を開催するとともに、文化祭・お祭り・スポーツ大会等への青少年の参加を

促すなど、あらゆる機会と場を活用しながら、青少年の健全育成と非行・被害防止に努めた。

### (3) 青少年健全育成啓発事業

市民が青少年問題に対する関心を深め、青少年の健全育成を推進するために、「青少年を健やかに育てる会」及びその他の関係機関と緊密な連携を保ちながら青少年健全育成啓発事業を行った。

7月には、全国一斉に内閣府が主唱する「青少年の非行・被害防止強調月間」と法務省の「社会を明るくする運動」を一体として、沼津駅前等主要箇所において街頭キャンペーンを実施した。

11月の「子供・若者育成支援強調月間」では、沼津駅周辺での街頭キャンペーンを実施し、さらに広報活動を通して青少年健全育成の啓発に努めた。

また、児童生徒が通学路や遊び場等で危険に遭遇した時、すぐに助けを求められる場所として「こどもかけこみ110番の家」(平成31年3月31日現在2,330か所)を設置した。

### (4) 青少年育成推進員制度

各地区の「青少年を健やかに育てる会」から推薦された322人で構成され、「青少年を健やかに育てる会」の中核的な推進役として、地域の青少年団体の育成や地区行事等で活動した。

### (5) 青年団体の育成

青年活動の活性化を図る目的で、青年団体により組織された沼津市青年教育振興協議会に対し、運営費助成を行った。

こいのぼりフェスティバルでは、青年のボランティア等により構成される「こいのぼりフェスティバル実行委員会」が主体となり、狩野川緑地にこいのぼりを群遊させ、その景観のもとで青年と子どものふれあいを図った(4月22日～5月5日 来場者数21,600人)。

また、沼津・三島の2市で設置する二市青年教育交流協議会において、青年教育に関する情報交換を行った。

### (6) 成人式

地域分散方式(中学校区単位)により、市内17会場で地域における手づくりの成人式を開催した(出席者総数1,514人、出席率84.0%)。

また、成人の日を意義あるものにすべく、新たに成人となった若者たちに有権者としての自覚と市政への関心を喚起するため、成人式の記念事業として新成人議会を開催した。

平成31年は第21回の開催であり、33人の新成人議員が出席した。

### (7) わたしの主張大会

市内の中学生が家庭、学校、郷土(地域)、友人、将来のこと、あるいは、自分の体験や日



頃考えていることを発表する場として開催している。

第37回大会では、市内19中学校から校内審査により選ばれた19人が発表した。

(8) 2018高校生しゃべり場 in ぬまづ

市内の各高校（沼津高専、沼津商業高校を含む）の代表者と、公募による市外の高校に通う市内在住の生徒に、日頃感じていることや意見を発表する場を提供することで、高校生の社会参加のきっかけを作るとともに、生徒自身の社会に対する意識の高揚を図り青少年の健全育成を促すことを目的としたしゃべり場をディスカッション方式で開催する。第6回となる本年度は、14人の高校生により、「高校生ならではの、中学生育成とは～私たちが中学生にできること～」というテーマで、活発な意見交換が行われた。

(9) 体験学習推進事業

幅広い分野での体験の機会を設け、参加者の自ら学び考える力や様々な物、事への興味・関心・意欲の向上を図ることを目的に、学校や家庭では出来ない経験の場を創設する各種講座を開催した。

開催数 8回 受講者数 211人

(10) 青少年教育推進事業

青少年の健全育成を図るため、沼津市子ども会育成連絡協議会等と常に緊密な連携を保ちながら次の事業を実施した。

ア 砂の造形大会を志下海岸を会場として6月17日に開催した（参加チーム数20）。

イ 球技大会を今沢中学校グラウンドを会場として11月24日に開催した。

（種目：ドッジボール、参加チーム数24）

ウ 子ども会リーダー養成のため、市内の小学校高学年及び中学生を対象としたフレッシュリーダー講習会を桃沢野外活動センター（長泉町）を会場として平成31年2月9日～11日に開催した（参加人数42人）。

また、インリーダー養成のため、市内の小学校高学年を対象に全5回の研修を実施した（参加人数18人）。

(11) 子どもの居場所づくり推進事業

行政、学校、放課後児童クラブ、児童福祉、社会教育の関係者や地域住民の代表などの委員で構成される「放課後子ども総合プラン運営委員会」を設置し、「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との関連や活動場所、人材確保など本市における「放課後子ども総合プラン」等について協議をし、「放課後子ども教室」を大岡小学校、大岡南小学校、門池小学校、沢田小学校及び片浜小学校にて実施した。

## 5 青少年教育センター

### (1) 補 導

#### ア 中央補導

繁華街での補導を強化するため、各小・中・高等学校、地区補導委員代表者、PTA及び警察署と連携を保ちながら計画的な街頭補導を実施した。

#### イ 地区補導

市内全域の補導強化を図るため、18地区の「青少年を健やかに育てる会」から推薦された少年補導委員により、それぞれ地区の実情に合った補導を実施した。

#### ウ 特別補導

「沼津夏まつり」「高尾山祭典」での補導を実施した。

#### 機関・団体別少年補導委員数

(単位 人)

機関・団体名	委員数	機関・団体名	委員数	機関・団体名	委員数
小 学 校 教 員	23	第五地区青少年を健やかに育てる会	19	静浦地区青少年を健やかに育てる会	6
中 学 校 教 員	18	片浜地区青少年を健やかに育てる会	12	内浦地区青少年を健やかに育てる会	6
高 等 学 校 教 員	24	今沢地区青少年を健やかに育てる会	14	西浦地区青少年を健やかに育てる会	3
大 型 店	2	金岡地区青少年を健やかに育てる会	17	原地区青少年を健やかに育てる会	17
第一地区青少年を健やかに育てる会	19	大岡地区青少年を健やかに育てる会	19	浮島地区青少年を健やかに育てる会	6
第二地区青少年を健やかに育てる会	20	門池地区青少年を健やかに育てる会	12	戸田地区青少年を健やかに育てる会	4
第三地区青少年を健やかに育てる会	17	愛鷹地区青少年を健やかに育てる会	6		
第四地区青少年を健やかに育てる会	20	大平地区青少年を健やかに育てる会	4	計	288

#### 街頭補導実施状況

実施回数	補導委員従事延べ人数	声かけ、注意、指導した少年	事後指導（家庭・学校・他機関への連絡）
回 620	人 4,010	人 2,326	人 0

街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区補導）

（単位 人）

学 職 別		性別	小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	小計	合計
行             種             別	飲 酒	男							0	0
		女							0	
	喫 煙	男							0	0
		女							0	
	薬 物 乱 用	男							0	0
		女							0	
	夜 間 は い か い	男			35				35	53
		女	1		17				18	
	不 良 交 友	男							0	0
		女							0	
	怠 学 ・ 怠 業	男							0	0
		女							0	
	ゲームセンター入場	男	19	33	179			2	233	401
		女	10	27	131				168	
パチンコ店入場	男							0	0	
	女							0		
カラオケ店入場	男							0	0	
	女							0		
自転車の暴走行為	男							0	0	
	女							0		
自転車の二人乗り	男			1				1	2	
	女			1				1		
自転車の無灯火	男		4	9	2			15	16	
	女			1				1		
危 険 な 遊 び	男	1						1	1	
	女							0		
そ の 他	男	8		8				16	19	
	女	2		1				3		
小 計		男	28	37	232	2	2	0	301	492
		女	13	27	151	0	0	0	191	
合 計			41	64	383	2	2	0	492	
事後指導	家庭・学校・職場へ連絡	男							0	0
		女							0	
	他機関へ連絡	男							0	0
		女							0	
合 計			0	0	0	0	0	0	0	
愛 の 声 か け 運 動		男	395	179	386	14	3		977	1,834
		女	311	163	371	7		5	857	
合 計			706	342	757	21	3	5	1,834	

(2) 環境浄化活動

有害図書の販売場所、ゲームセンター、カラオケ店及び公園・空き地等、青少年のたまり場や遊び場を巡視、高校生等による市道公園の落書き消し等環境の浄化に努めた。

(3) 広報活動

非行・被害防止及び健全育成の啓発を図るため、街頭キャンペーン、青少年教育センターの機関紙「たより」の発行、関係機関や団体との情報交換を行った。

(4) 教育相談

面接相談と電話相談の各利点を生かして、児童生徒及び保護者の相談に応じた。教育相談の実績は、面接相談137件（延べ1,478回）、電話相談4,098件であった。

ア 相談指導学級

不登校の児童生徒の学校復帰や社会的自立を図るため、通級による指導を行うことを目的に開設した。

イ 面接相談

非行、不登校、発達・子育て、進路・適性、対人関係等の課題について、職員や臨床心理士、言語聴覚士により面接相談を通じて相談者自身による課題解決を支援した。また、本人や保護者との面接のほか、必要に応じて学校等への訪問を実施した。

相談内容・対象者別内訳

(単位 件)

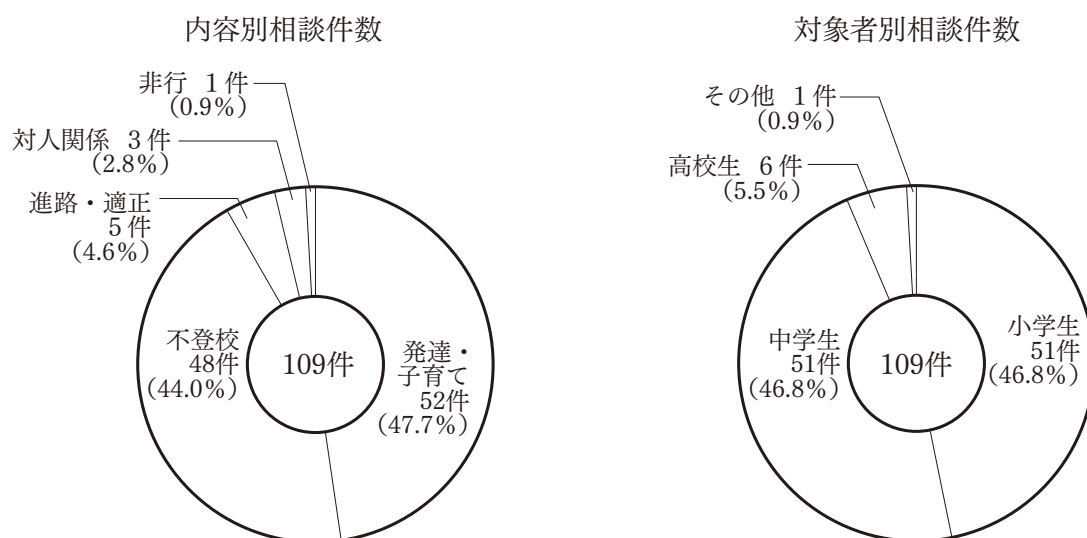
対象者	内容	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	計
幼児	見							0
新規								0
小学生			19	38	3			60
新規			13	35	3			51
中学生			49	18	1	1		69
新規			34	15	1	1		51
高校生		1	2	1	1	2		7
新規		1	1	1	1	2		6
その他				1				1
新規				1				1
本年度		1	70	58	5	3	0	137
新規		1	48	52	5	3	0	109

※対象者のその他……大学（短大）生・専門学校生・有職少年・無職少年など

※上段は相談件数

※下段は新規相談で上段の内数

[新規相談受理状況]



ウ 相談指導学級における教育相談教員研修

学校における複雑多様化した児童生徒の行動を理解し、課題の改善を図る手法として、「教育相談的かわり」のできる教員を育成することを目的に、教職員研修センターの主催する「若手教員研修」のうち相談指導学級における体験研修を行った。(受講者14人、年間14回)

エ 電話相談

「やまびこ電話」の愛称で呼ばれる電話相談では、電話を通して訴えられる青少年に関する多種多様な課題や悩みについて、26人(平成31年3月31日現在)の相談員が共に悩み考えながら解決へ向け支援した。

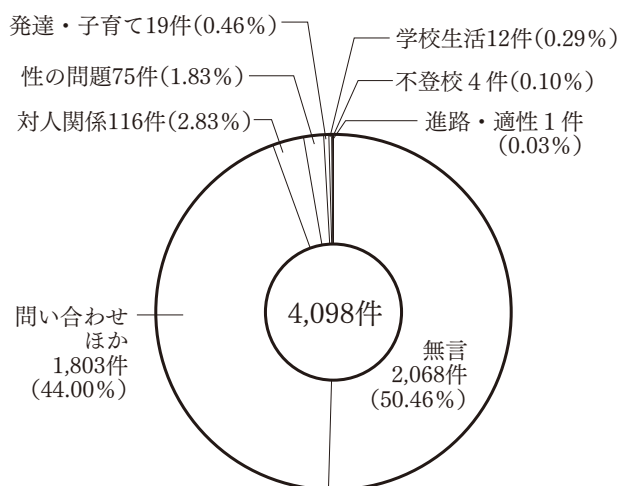
相談内容・対象者別内訳

(単位 件)

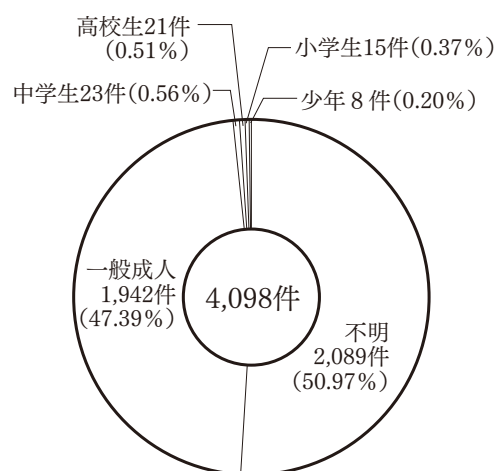
内容	対象者	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	不明	計
非行									0
不登校			1	3					4
発達・子育て			7	6	1	2	3		19
性の問題			3	7	10	4	41	10	75
進路・適性			1						1
対人関係			1		2		109	4	116
学校生活			2	4	4			2	12
問い合わせほか				3	4	2	1,789	5	1,803
無言		—	—	—	—	—	—	2,068	2,068
計		0	15	23	21	8	1,942	2,089	4,098

※少年は20歳未満の大学（短大）生・専門学校生・有職少年・無職少年

内容別相談件数



対象者別相談件数



## 6 勤労青少年ホーム（アクティブ沼津）

勤労青少年の福祉の向上と余暇の有意義な活用並びに同世代交流を目的とする施設として昭和43年に開館したが、施設の老朽化や青少年を取り巻く社会情勢の変化による利用者の減少などから、本年度末をもって閉館した。

(1) 行 事

利用者運営委員会の参画により、利用者の意見を取り入れながら、活動発表の場としてホーム祭を行った。

前期教養講座開講式 4月20日 前期ホーム祭 9月9日

後期教養講座開講式 10月5日 後期ホーム祭 平成31年3月10日

(2) 利用状況

月	区分	男	女	計	開館日数	一日平均 利用人員
4		34 <sup>人</sup>	79 <sup>人</sup>	113 <sup>人</sup>	24 <sup>日</sup>	4.7 <sup>人</sup>
5		69	187	256	24	10.7
6		60	191	251	26	9.7
7		50	170	220	25	8.8
8		53	170	223	26	8.6
9		76	190	266	23	11.6
10		59	201	260	26	10.0
11		89	241	330	24	13.8
12		38	178	216	23	9.4
31.1		60	190	250	23	10.9
31.2		51	213	264	23	11.5
31.3		66	237	303	25	12.1
計		705	2,247	2,952	292	10.1
性別比率		23.9%	76.1%	100%		

(3) 登録状況

年齢別

(単位 人)

性別	年齢	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳以上	計
男			1	41	42
女			7	128	135
計		0	8	169	177

## (4) 教養講座

講座名	曜日	時間	受講者数	講座内容
実用ペン習字	月	18:30 ~ 20:30 一部例外あり	10人	楷書、行書など、日常に役立つペン字を学習する。
やさしい ピラティス &ストレッチ	月		27	マットを使用したエクササイズ。体の中心にあるコアな筋肉を主に鍛え、姿勢の改善・シェイプされた体を作る。簡単なピラティスやストレッチで体幹を整える。
暮らしを彩る 生け花	月		17	基本から応用、自由花、簡単なアレンジまで花のある生活を体験し、楽しむ。
楽しく簡単 家庭料理	火		15	「簡単でおいしい今日すぐに食卓に出せる料理」をテーマに楽しく学ぶ。
ボール エクササイズ	火		15	運動不足解消・シェイプアップのため、ミニボールを使用してトレーニング・ストレッチ等を行う。
和の装い 着装&作法	火		10	ひとりで「きもの」が着られる着装のポイントとマナー（作法）を習得する。
ネイル基礎	火		5	初心者の方が、爪のケアと簡単なネイルアートについて学ぶ。
陶芸	水(前期) 木(後期)		14	陶芸の基礎から作品の制作までを、電動ろくろにも挑戦し創作する喜びを味わう。
ホリスティック アロマセラピー	水		18	日常生活に植物の持つエネルギー（精油）を取り入れて、心と体を癒し、リフレッシュすることを学ぶ。
コンディショ ニングヨガ	水・土		65	ヨガを通して体の中の眠った細胞を呼び起こす。体を動かし、自分の体への理解を深める。 *運動を伴うヨガ講座
初心者 スポーツ教室	木		37	勤労者体育センターを会場に、卓球・ソフトバレーボール・バスケットボール・バドミントンなどの種目をゲーム中心に楽しむ。
やさしい フラダンス	金		16	ハワイアンにあわせて、楽しく体の中心を動かす。
英会話	金		20	あいさつや海外旅行などに役立つ初歩の英会話がつくように学習する。



(5) サークル活動状況

サークル名	部員数	曜日	練習場
バスケットボール	13 <sup>人</sup>	土	勤労者体育センター
木彫	9	土	勤労青少年ホーム

7 芸術・文化振興

市民による自主的な芸術・文化活動を支援し、その成果を発表する場として、市民の参画により「第45回沼津市芸術祭」を開催した。また45周年記念企画を実施した。

部門名	開催日・会場	内容
書道展	10.3～10.8 プラサヴェルデ	出品総数 104点 書道の作品展示
写真展	10.6～10.11 市民文化センター	出品総数 146点 写真の作品展示
芸術祭茶会	10.7 御用邸記念公園東附属邸	参加団体 3流派(55人) 煎茶静風流、宗徧流、表千家による茶席
合唱祭	10.7 市民文化センター	参加団体 34団体(699人) 少年少女、高校、職場、婦人、一般による合唱の発表
ぬまづ文芸	10.10 入賞者発表	出品総数 468点 随筆、詩、短歌、俳句、川柳の作品募集と作品集「ぬまづ文芸」の発行
秋の舞踏会	10.14 市民文化センター	参加団体 7団体(179人) 各洋舞団体のジャズダンスやフラメンコ等の作品発表
美術展	10.19～10.24 プラサヴェルデ	出品総数 131点 洋画・日本画・水彩画・版画の作品展示
演劇祭	10.20 市民文化センター	参加人数 10人 岩崎直 演出・指導「あなたに 伝えたい…」の上演
バレエパフォーマンス	10.21 市民文化センター	参加団体 5団体(120人) 各バレエ団体による作品と合同作品の発表
沼津寄席	10.21 市立図書館	参加人数 11人 講談、落語、物語などの披露
現代いけばな展	10.26～10.28 市民文化センター	出品点数 21点 自由な発想による超流派のいけばな展示
郷土ふれあい太鼓	10.28 市民文化センター	参加団体 6団体(104人) 「郷土ふれあい太鼓」と題した太鼓の演奏
邦楽祭	10.28 市民文化センター	参加団体 13団体(105人) 箏、三味線、謡の披露

部門名	開催日・会場	内 容
音楽の広場	11.3 市民文化センター	参加団体 14団体 (383人) 高校生による吹奏楽の演奏
芸能祭	11.4 市民文化センター	参加団体 4団体 (300人) 剣舞、詩吟、詩舞、歌謡吟などの披露
クライネムジーク コンサート	11.10 市民文化センター	参加人数 9人 プロ・セミプロによるクラシック音楽の演奏
新舞踊祭	11.17 市民文化センター	参加団体 9団体 (75人) 各団体による新舞踊の披露
表彰式	11.11 プラサヴェルデ	美術展部門、写真展部門、書道展部門、文芸部門の 入賞者の表彰

	開催日・会場	内 容
45周年 記念企画	11.25～11.27 市民文化センター	展示部門（書道、美術、写真、現代いけばな、文芸）、 茶会（5流派）、ステージ部門（洋舞、邦楽、新舞 踊、話芸、講談、クラシック、和太鼓）、落語（特別 ゲスト・三遊亭朝橘）、沼津ユネスコ協会小中学生絵 画展

○5月に第36回ぬまづ茶会を開催し、茶道文化の普及と本市の都市イメージの向上を目指した。

○10月に第36回山口源新人賞を1作品に授与した。また受賞者を講師とし、版画の普及を目的とした版画ワークショップを高校生を対象に行った。

○まちなかコンサート

芸術文化の振興と市中心部のにぎわいづくりを目的として、駅周辺の会場において音楽コンサートを開催した。

内 容	開催日	会 場	参加人数
みんなで楽しく屋上庭園で ポップス音楽会	10.6	プラサヴェルデ市民サロン	164人

## 8 市史編さん

市の歴史を明らかにする貴重な史・資料を整理・保存した。頒布可能な刊行物は、次のとおりである。

- ① 市史「史料編 近世1」 (有償頒布) 平成5年刊行
- ② 市史「史料編 古代・中世」 (有償頒布) 平成8年刊行

③ 市史「史料編 近代1」	(有償頒布)	平成9年刊行
④ 市史「史料編 漁村」	(有償頒布)	平成11年刊行
⑤ 市史「資料編 自然環境」	(有償頒布)	平成11年刊行
⑥ 市史「史料編 近世2」	(有償頒布)	平成12年刊行
⑦ 市史「史料編 近代2」	(有償頒布)	平成13年刊行
⑧ 市史「資料編 考古」	(有償頒布)	平成14年刊行
⑨ 市史「資料編 民俗」	(有償頒布)	平成14年刊行
⑩ 市史「史料編 近世3」	(有償頒布)	平成15年刊行
⑪ 市史「史料編 現代」	(有償頒布)	平成16年刊行
⑫ 市史「通史編 原始・古代・中世」	(有償頒布)	平成17年刊行
⑬ 市史「通史編 近世」	(有償頒布)	平成18年刊行
⑭ 市史「通史編 近代」	(有償頒布)	平成19年刊行
⑮ 市史「通史別編 漁村」	(有償頒布)	平成19年刊行
⑯ 市史「通史編 現代」	(有償頒布)	平成21年刊行
⑰ 市史「通史別編 民俗」	(有償頒布)	平成21年刊行
⑱ 「戸田村史 通史編」	(有償頒布)	平成28年刊行
⑲ 市史だより1～25号	(無償頒布)	
⑳ 市史研究2～19号	(有償頒布)	
㉑ 市史叢書1～11	(有償頒布)	
㉒ 調査報告書6～16	(有償頒布)	

## 9 文 化 財

郷土の文化遺産の保護・継承のため、文化財の調査・整理及び保存に努めたほか、文化財の愛護思想を啓発するため、講師を派遣して「文化財めぐり」を5回開催し、99人の市民が参加した。出前講座は1回開催し、20人の市民が聴講した。また、文化財保護審議会を2回開催し、市の指定文化財の指定に関することなどを審議した。

なお、文化財センターについては、従来の機能に加え展示機能のさらなる充実を図るため、移転先となる旧静浦西小学校を改修し、新文化財センターの移転を実施した。

埋蔵文化財発掘調査関係の主な事業は、次のとおりである。

- 中原遺跡埋蔵文化財発掘調査受託事業
- 第二地区センター建設事業

- 岡宮北土地区画整理事業
- 埋蔵文化財発掘調査補助事業
- 静岡東部拠点土地区画整理事業
- 埋蔵文化財発掘調査整理事業

また、史跡等保全整備事業として次の事業を行った。

- 長浜城跡保存活用事業
- 興国寺城跡保存整備事業
- 戸田松城邸保存修復事業
- 帯笑園保存活用事業
- 高尾山古墳保存整備事業

## 10 社会教育施設

### (1) 若山牧水記念館

公益社団法人沼津牧水会を指定管理者として、歌人若山牧水の業績の顕彰と沼津の文学風土を紹介することを目的として、文学資料の保存や調査・研究を行うとともに、講座・講演等を開催し、広く市民の教養・文化の向上に努めた。

#### ア 事業

##### (ア) 講座・講演等

- 「初心者のための短歌講座」、「牧水記念館短歌会」

4月～平成31年3月 参加者 合計308人 講師 青木 朝子

(公益社団法人沼津牧水会理事)

- 文化講演会「羽生善治講演会」(市民文化センター)

4月25日 参加者1,516人 講師 羽生 善治

- 短歌大会

10月7日

「短歌大会」応募短歌90首 参加者68人

講師 三枝 浩樹(「沃野」主宰、第22回若山牧水賞受賞者)

平成31年3月3日

「雛の歌会」応募短歌59首 参加者46人

講師 池田はるみ(「未来」選者・編集委員)

○「中学生短歌コンクール」

募集期間 5月1日～7月31日

表彰式 10月21日 沼津牧水祭・碑前祭にて

応募短歌 18校 1,798首 入選短歌49首

(イ) 調査・研究

牧水顕彰のための調査・研究を行い、関係資料の収集に努めるとともに、館報の作成に活用した。

(ウ) 若山牧水記念館館報の刊行

「沼津市若山牧水記念館」館報（年2回）を刊行し、市民への啓発を行った。

第61号（9月10日）

第62号（平成31年3月1日）

イ 企画展示

○「書道講座」受講者作品展示（平成31年3月19日～31日）

ウ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数
4	331 <sup>人</sup>	26 <sup>日</sup>	10	366 <sup>人</sup>	26 <sup>日</sup>
5	485	26	11	271	26
6	593	26	12	225	24
7	335	26	31.1	214	24
8	337	27	31.2	231	24
9	455	26	31.3	641	27

入館者数 4,484人

開館日数 308日

1日平均  
入館者数 14.6人

(2) 歴史民俗資料館

郷土の歴史・民俗資料の収集、保管、調査・研究を行い、企画展や講座を開催し、市民文化の向上と発展に努めた。

ア 歴史民俗資料館協議会

館の円滑な運営を図るため、委員6人による協議会を3回開催し、館の運営計画や展示計画、PR方法などについて協議した。

イ 事業

(ア) 国重要有形民俗文化財の「沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具」（2,539点）の指定報告書解説編の作成を進めた。

- (イ) 調査・研究活動として、民俗、古文書等の収蔵資料の整理を実施した。
- (ウ) 普及活動として、「資料館だより」、「沼津市歴史民俗資料館資料集32」、「沼津市博物館紀要43」（明治史料館と共同）を刊行した。
- (エ) 8月10・11日、体験学習「昔の道具を使ってみよう」を開催した。（参加者：11人）
- (オ) 平成31年1月12日、歴民講座「江戸時代初期の徳川権力と沼津～大御所家康、徳川頼宣・忠長の時代～」を開催した。（参加者：157人）

ウ 展 示

(ア) 常設展

1階展示室に「奥駿河湾の漁法と漁具」、2階展示室に「生活用具とものづくり」、「沼津の漁業、信仰（漁具）」を展示した。

(イ) 企画展

○国指定漁具コレクション信仰・儀礼用具「いのりの海」を開催した。

（4月1日～5月6日）

○国指定漁具コレクション水産加工用具「沼津のひもの・かつおぶし」を開催した。

（平成31年2月2日～3月31日）

エ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数		
4	4,171 <sup>人</sup>	25 <sup>日</sup>	10	3,492 <sup>人</sup>	25 <sup>日</sup>		
5	4,758	25	11	6,390	22	入館者数	43,685人
6	4,743	26	12	1,857	20	開館日数	289日
7	2,396	25	31.1	2,172	23	1日平均	151.2人
8	3,635	26	31.2	3,378	23	入館者数	
9	2,456	25	31.3	4,237	24		

(3) 明治史料館

江原素六及び沼津兵学校の関係資料を中心に常設展示を行うとともに、地域の歴史資料の調査・収集・保存をし、企画展をはじめ、講座の開設、資料の整理・出版活動を通じて、市民文化の向上と発展に努めた。また、明治維新150年の一環として「沼津兵学校創立150周年記念式典開催事業」を支援した。

ア 明治史料館協議会

館の円滑な運営を図るため、委員10人による協議会を3回開催し、運営及び事業計画な

どについて協議した。

## イ 事 業

### (ア) 古文書解読入門講座

古文書を初めて読む市民を対象に、当館講座室を会場として、郷土史料をテキストに、くずし字などの解読力を養う入門講座を開設した。講座終了後は、生涯学習のサークルとして自主学習グループの育成に努めた。

### (イ) 戦争史跡めぐり

8月10日・11日、小学生とその保護者、中学生を対象とした、「平和を考える戦争史跡めぐり」を実施し、地域の歴史学習の場を提供した。

### (ロ) 高校生のための一日学芸員体験講座

8月7日・9日、「学芸員」という仕事を体験することによって、高校生が歴史や博物館などに対する興味を持つとともに進路を決める際の参考になるよう開催した。

### (ハ) 「戦時中のくらしを体験しよう」

8月8日、戦時中の物資不足の体験を学ぶため、当時の主な食べものであった「すいとん」作りや、戦争体験者の話を聞く小学生歴史教室を開催した。

### (ニ) 戦争体験を記録する会

毎月1回の会合を開き、戦争の体験を後世に残すために、市民の戦争体験を記録した。

### (ホ) 出版活動

館報である「明治史料館通信」(年4回)を刊行し、博物館活動への理解向上を図ったほか、歴史民俗資料館と共同で「沼津市博物館紀要43」を刊行し、博物館業務としての資料整理や研究成果の公表を行った。

### (ヘ) そろくまつり

江原素六の功績に対し感謝と理解を深めるため、地元小学校児童による学習発表会や作品展などを開催した。

## ウ 展 示

### (ア) 常設展

3階、4階を常設展示場とし、3階北側は「江原素六」、3階南側は「沼津の歴史」、4階は「沼津兵学校」を展示した。

(イ) 企画展

○富士・沼津・三島3市博物館共同企画展

幕末・明治の富士・沼津・三島「御一新!?!～庶民が体験した沼津の幕末維新～」

(7月1日～9月30日)

○明治史料館開館35周年記念「史料館のキセキII」

(平成31年2月2日～3月24日)

エ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数
4	252 <sup>人</sup>	25 <sup>日</sup>	10	862 <sup>人</sup>	21 <sup>日</sup>
5	993	25	11	470	25
6	230	18	12	311	23
7	516	25	31.1	238	23
8	1,119	26	31.2	508	23
9	713	25	31.3	426	25

入館者数 6,638人

開館日数 284日

1日平均入館者数 23.4人

(4) 戸田造船郷土資料博物館

幕末に日本に來航して駿河湾で沈没したロシアの軍艦ディアナ号、その代船として建造されたヘダ号関係の資料、戸田の漁業や廻船業などの郷土資料を対象として、資料収集と展示公開に努めた。

ア 戸田造船郷土資料博物館協議会

館の運営の円滑化を図るために、委員5人からなる協議会を開催し、館の展示計画や広報活動、資料収集活動のあり方について協議した。

イ 事業

(ア) 博物館だよりの発行

博物館への関心を高め、博物館の活動について住民に知らせるための博物館だよりを隔月発行し、戸田地区内回覧及び各窓口事務所等に配布した。

(イ) 資料収集

民俗資料等の収集を行った。

(ウ) 本年の「ロシアにおける日本年」「日本におけるロシア年」にあたり、富士・下田・沼津の3市主催で行われた日露交流事業に参画した。



ウ 展 示

大名びな展（4月1日～5月31日）

重要文化財松城家住宅展（6月1日～平成31年2月28日）

深海魚アートデザインコンテスト入賞作品展（12月21日～平成31年1月29日）

戸田から見た富士山写真展（平成31年2月1日～2月28日）

エ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数				
4	978 <sup>人</sup>	27 <sup>日</sup>	10	835 <sup>人</sup>	25 <sup>日</sup>	入館者数	11,006人		
5	840	26	11	926	26			開館日数	305日
6	546	26	12	746	23			1日平均	36.1人
7	954	26	31.1	714	24			入館者数	
8	1,560	27	31.2	740	23				
9	881	25	31.3	1,286	27				

(5) 庄司美術館（モン ミュゼ沼津）

NPO法人沼津文化協会を指定管理者として、寄贈された美術品による常設展や沼津ゆかりの芸術家を中心とした企画展を行い、市民に美術鑑賞の場を提供した。

ア 庄司美術館運営委員会

美術館の適正な運営を図るため、委員9人による運営委員会を2回開催し、運営及び展示計画などについて協議した。

イ 展 示

期 日	1 階 展 示 室	2 階 展 示 室
4.1～4.22	世界のガラス展 五味秀夫油彩画展	小林博子作品展
4.28～5.20	西村陽一郎写真展 「青い花」	「LIFE」展
5.26～6.17	孤高の画家Couvin 藤崎孝敏の芸術	眞柄光男陶芸展 「食卓を彩るうつわ展」
6.30～7.29	ファロ夢の木馬展	～金属に命を吹き込む～ 河合隆男彫金展
8.4～8.26	ファロ夢の木馬展	細田裕紀 昆虫作品展 密やかに虫と戯れる
9.1～9.24	堂免修展	Furu作品展 Collection. Car 2018
9.29～10.21	内藤のりこ作品展	アンティークカメオ展
10.27～11.25	長井節子作品展	小澤明子作品展 気まぐれ籠や
12.1～12.23	塩川晴美作品展	弘山明子布絵キルト展
31.1.4～1.20	寄贈作品展～美術館を彩った作家達 2019～	
31.1.26～2.17	山口源賞大賞新人賞受賞作品展	
31.2.23～3.17	山口源と物体版画の世界展	

ウ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数				
4	441 <sup>人</sup>	22 <sup>日</sup>	10	433 <sup>人</sup>	22 <sup>日</sup>	入 館 者 数	5,869人		
5	550	22	11	448	22				
6	444	16	12	684	20			開 館 日 数	250日
7	937	26	31.1	212	20			1 日 平 均	23.5人
8	793	20	31.2	244	20			入 館 者 数	
9	433	23	31.3	250	17				

(6) 芹沢光治良記念館

平成21年4月1日に一般財団法人井上靖文学館から資料及び建物の寄附を受け、同年10月1日に芹沢光治良記念館として開館した。本市生まれの作家芹沢光治良の関係資料を整理・収集・保存し、企画展示を行うとともに、市民ギャラリーとして沼津の文化に関する企画展示を一般公募するなど、市民文化の向上と発展に努めた。

ア 芹沢光治良記念館懇話会

館の円滑な運営を図るため、委員5人による懇話会を2回開催し、運営方法及び事業計画などについて参考意見を聴取した。

イ 事 業

(ア) 資料整理・保存

芹沢光治良関連資料のデータベース化と適正保存を進めるために、資料目録の点検、補填など、資料の整理及び保存の処理を行った。

(イ) 各種広報活動

当館周知のためのポスター及びチラシ等を作成し、市内小中学校等の教育機関、各自治会及び主要文化施設に配布した。また各イベント会場へ出向き、同様に配布した。

(ウ) 教育普及

新たに庁内研修や出張講義を実施した。

事業名	内 容	期 日	備 考
刊 行 図 書	企画展光治良と少女小説展図録	31.3.29	館内にて有償頒布
出 前 講 座	芹沢光治良出前上映会	4.9	第三地区社会福祉協議会「なかよし会」 参加者32人
	「芹沢光治良について」	10.26	我人道連合「壮寿会」 市立第三中学校1年生を対象 参加者約200人
	芹沢光治良出前上映会	31.2.16	原婦人会 参加者42人
展 示 説 明 会	企画展光治良と沼津展展示説明会	7.26 8.8	同日中に全3回実施 参加者計20人
	企画展光治良と中国展展示説明会	12.22	同日中に全3回実施 参加者計16人
講 演 会	平成30年度芹沢光治良文学講演会 「芹沢光治良文学は今を生きる中国 人民にどう映ったか」	11.24	講師：加藤嘉一氏 参加者140人
庁 内 研 修	「芹沢光治良について」	6.6	市立図書館 市立図書館職員を対象 参加者47人
出 張 講 義	「ジオ文豪カフェ2 芹沢光治良× 井上靖」	31.2.24	伊豆半島ジオパーク推進協議会 参加者32人

## ウ 展 示

### 企 画 展

○光治良と林芙美子展（第2回）（4月1日～5月31日）

○光治良と沼津展（6月15日～10月31日）

○光治良と中国展（11月15日～平成31年3月31日）

### エ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数						
4	1,363 <sup>人</sup>	26 <sup>日</sup>	10	303 <sup>人</sup>	26 <sup>日</sup>	入 館 者 数	3,844人				
5	321	26	11	351	14			開 館 日 数	283日		
6	57	14	12	280	24					1 日 平 均 入 館 者 数	13.6人
7	147	26	31.1	184	24						
8	193	27	31.2	131	24						
9	325	26	31.3	189	26						

## 11 社会体育

生涯スポーツの振興のため、各種スポーツ大会等の開催のほか、小・中学校の体育施設の開放を推進するとともに、NPO法人沼津市体育協会、沼津市スポーツ推進委員連絡協議会、同各地区体育委員会、同スポーツ少年団の活動助成に努めた。

また、沼津市スポーツ推進基本計画（平成26年度～令和5年度）の前期推進計画（平成26年度～30年度）に基づきスポーツ振興にかかる事業を行った。

### (1) スポーツ大会等開催事業

名 称	実施時期	概 要
第59回沼津市町別ソフトボール大会	4.8・22・29	30歳以上の男性及び高校生以下を除く女性がソフトボールを楽しむ中で体力づくりと健康の増進を図り、試合を通して相互の親睦を深めた。(参加59チーム)
第52回沼津市町別バレーボール大会	6.3・10	20歳以上の既婚女性又は30歳以上の女性がバレーボールを楽しむ中で体力づくりと健康の増進を図り、試合を通して相互の親睦を深めた。(参加38チーム)
第72回沼津市スポーツ祭	通 年	各種スポーツの普及と底辺拡大を図るため、体育協会の協力のもと、約20,000人が参加し、市主催の本市最大のスポーツ大会を実施した。 水泳競技ほか30種目
2018ぬまづ健康スポーツ祭	9.30	年齢問わず、親睦を深め、気軽にスポーツに親しみ健康で楽しい生活が送れるようにすることを目的に実施した。(参加者748人)
第63回千本浜ファミリーマラソン大会	11.11	市民の健康増進と体力づくりを目的に、千本浜防潮堤を利用して、誰でも気軽に参加できるマラソン大会を実施した。(参加者496人)
第65回沼津市駅伝競走大会	31.1.20	職場スポーツの普及と青少年の体力増進を図ることを目的として愛鷹広域公園内の周回コースで実施した。(参加72チーム)

### (2) 支えるスポーツ推進事業

本市のスポーツ振興の基本理念の一つである「ささえるスポーツ」の実現を目的とし、年齢・性別を問わず、誰もがスポーツに参画できる環境の整備のため、各種研修会やスポーツリーダーの資格取得補助を行った。

### (3) スポーツリーダーバンク事業

沼津市スポーツリーダーバンクに登録されている指導者の活用方法等について検討を行った。

○紹介可能種目 テニス、卓球、バレーボール、柔道等全28種目

○登録指導者数 25人

(4) 魅せるスポーツ推進事業

本市のスポーツ振興の基本理念の一つである「みるスポーツ」を推進するため、本市にゆかりのあるトップアスリートによる教室の開催や縣市町対抗駅伝競走大会の沼津市チームへの支援を行った。

(5) 学校体育施設利用推進事業

地域スポーツの振興を図るため、小・中学校の体育施設を地域住民のスポーツの場として開放し、市民の健康の維持・増進と体力づくりを図った。

学校体育施設利用状況

		運動場（夜間）	運動場（昼間）	体育館（夜間）	体育館（昼間）
小学校	日数	808 日	3,271	4,853	3,804
	人数	19,394 人	99,700	84,290	95,554
中学校	日数	953 日	191	4,275	252
	人数	13,060 人	6,879	77,398	5,818
計	日数	1,761 日	3,462	9,128	4,056
	人数	32,454 人	106,579	161,688	101,372

(6) 地域体力づくり教室運営事業

身近な施設でたくさんの仲間とふれあいながら、健康・体力づくりができるように各種の教室を地区センターなどを会場に開催した。

教室名		会場	定員 (各期)	期・回数	参加人員		対象者
					男	女	
女性体操教室	Aコース	原地区センター	45 <sup>人</sup>	3期延べ28回	— <sup>人</sup>	1,054 <sup>人</sup>	18歳以上の女性
	Bコース		45	3期延べ28回	—	943	
ふれ愛体操教室	水曜日コース	原地区センター	80	3期延べ30回		1,057	60歳以上の人
	木曜日コース		80	3期延べ30回	28	1,381	
ふれ愛体操教室	Aコース	大平地区センター	30	3期延べ30回		642	60歳以上の人
	Bコース		30	3期延べ30回		644	
男性健康づくり教室			30	3期延べ30回	523	—	50歳以上の男性
ふれ愛体操教室		静浦地区センター	40	3期延べ30回		708	60歳以上の人
ふれ愛体操教室		浮島地区センター	40	3期延べ29回		449	60歳以上の人
ふれ愛体操教室		戸田B&G海洋センター	50	3期延べ30回		870	60歳以上の人
ふれ愛体操教室		愛鷹地区センター	40	3期延べ30回		599	60歳以上の人
ふれ愛体操教室	水曜日コース	第三地区センター	45	3期延べ30回		831	60歳以上の人
	木曜日コース		45	3期延べ30回	15	954	
男性健康づくり教室		片浜地区センター	40	3期延べ30回	735	—	50歳以上の男性
からだづくり教室		第五地区センター	40	3期延べ29回		683	18歳以上～50歳代
ふれ愛体操教室			40	3期延べ29回	49	823	60歳以上の人
からだづくり教室		門池地区センター	40	3期延べ30回		521	18歳以上～50歳代
ふれ愛体操教室	Aコース		40	3期延べ30回		738	60歳以上の人
	Bコース	40	3期延べ30回	164	674		
ふれ愛体操教室	水曜日コース	今沢地区センター	40	3期延べ30回	8	567	60歳以上の人
	木曜日コース		40	3期延べ30回		783	
ふれ愛体操教室		大岡地区センター	40	3期延べ30回		502	60歳以上の人
からだとのえ運動教室		内浦地区センター	40	3期延べ30回	22	576	40歳以上の人
小計					1,544	15,999	
合計					17,543		

(7) 屋外運動場夜間照明施設整備事業

地域スポーツの振興を図るため、小・中学校等に設置してある夜間照明施設の点検及び修繕を行った。

(8) スポーツ広場整備事業

地域住民の健康・体力づくりのため、自治会が借り上げた遊休耕作地等の土地にグラウンド砂の補充を行ったほか、防球ネットの工事を行った自治会に対する助成を行った。

(9) 全国高校総体開催事業

全国高等学校総合体育大会が東海四県で開催された。本市では、8月3日から5日までブラサヴェルデを会場に相撲競技大会を開催し、全国から個人戦に142人、団体戦に46校が出場、来場者は延べ約6,800人であった。

また、会場では、観光パンフレットの配付や地場産品ブースを設けるなど、本市の魅力をPRした。

## 第5節 自然体験施設

### 1 ゆめとびら舟山

自然体験施設として、青少年の健全育成を図るための集団宿泊生活や野外活動など年間利用者数は43団体延べ1,961人であった。

(1) ゆめとびら舟山運営審議会

沼津市校長会、沼津市スポーツ少年団、戸田観光協会代表などの7人により構成され、2回の会議を開催し、施設の利用促進、今後の活用の方策などについて審議した。

(2) 利用状況

ア 宿泊棟

(ア) 月別

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	31.1	31.2	31.3	計
団体数	1	2	5	5	4	2		11	4	2	1	6	43 <sup>団体</sup>
実人員	34	80	75	192	170	33		164	64	31	32	78	953 <sup>人</sup>
延べ人数	68	149	131	404	371	93		388	120	59	64	114	1,961 <sup>人</sup>
開所日数	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308 <sup>日</sup>
利用率	2.6	5.7	5.0	15.5	13.7	3.6	0.0	14.9	5.0	2.5	2.7	4.2	6.4 <sup>%</sup>



$$\text{※利用率} = \frac{\text{延べ利用者数}}{\text{宿泊定員 (100人)} \times \text{開所日数}} \times 100$$

(イ) 団体別

団体 区分	幼・保	小学校	中学校	高等学校 各種学校等	スポーツ 少年団等	その他	計
団体数		2	1		13	27	43 <sup>団体</sup>
実人員		65	69		419	400	953 <sup>人</sup>
延べ人数		242	138		924	657	1,961 <sup>人</sup>

イ グラウンド等

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	31.1	31.2	31.3	計
団体数	2	1	8	11	13	8		24	2	3	5	8	85 <sup>団体</sup>

## 第6節 体 育 施 設

### 1 市民体育館

(1) 市民体育館運営審議会

市民体育館利用者代表等からの委員（定員15人以内）により構成され、1回の会議を開催し、市民体育館の運営について審議した。

## (2) 開催事業

## ア 体力づくり教室

教室名		定員 (各期)	期・回数	参加人員		対象者
				男	女	
親子体力 づくり教室	父子ふれあい(30組)	60	3期延べ30回	180	240	4・5・6歳児と保護者
	3歳コース(120組)	240	3期延べ30回	500	1,009	3歳児と保護者
	4・5・6歳コース(60組)	120	3期延べ30回	371	1,055	4・5・6歳児と保護者
小学生体育教室		40	3期延べ30回	278	355	小学1・2年生の運動が苦手な児童
男性スポーツ教室		30	3期延べ30回	313	—	18歳以上の男性
女性体操 教室	月曜日コース	50	3期延べ29回	—	990	18歳以上の女性
	火曜日コース	150	3期延べ30回	—	2,141	
トレーニング教室		10	3期延べ30回	—	65	18歳以上の女性
女性フィットネス教室		40	3期延べ30回	—	786	18歳以上の女性
ボディバランス 教室	月曜日コース	40	3期延べ29回	24	690	18歳以上の人
	水曜日コース	40	3期延べ30回	41	585	
コンディショニング教室		25	3期延べ30回	77	506	18歳以上の人
ロコモ 予防教室	木曜日コース	40	3期延べ30回	70	851	運動を止められていない 50歳以上の人
	金曜日コース	40	3期延べ30回	139	885	
脚力アップ教室		40	3期延べ30回	196	995	60歳以上の人
健康体操教室		100	3期延べ30回	134	1,182	60歳以上の人
小計				2,323	12,335	
合計				14,658		

## イ 短期講座

### 2018秋の運動講座

講座名	定員	開催日	参加人員		対象者
			男	女	
デトックスヨガ	25	11.13・20・27 12.4	4 <sup>人</sup>	81 <sup>人</sup>	市内に住むか通勤する 18歳～64歳の人
ウェーブストレッチング	25	11.14・21・28 12.5	7	61	
ピラティスポール	35	11.12・19・26 12.3	6	84	
計			17	226	

## ウ トレーニングの指導

### 利用者講習会

運動不足の解消や、健康増進などを図りたい人を対象に安全で効果的なトレーニングが進められるように講習会を行った。

利用者講習会受講者	87回 887人	トレーニング室利用者	公開日数352日 53,221人
男性	601	男性	42,485
女性	286	女性	10,736

## エ 体力測定・診断

これから運動を始めようとする人や、体力に不安を感じる人を対象に、体力レベルや、身体構成を知るための体力測定を行い、その結果について診断し、今後の体力・健康づくりに関する指導を行った。

体力測定・診断受講者	43回 87人
男性	30
女性	57

(3) 利用状況

ア 年度別利用状況

(単位 人)

年度	区分	個人利用者		団体利用者		体力づくり 教室等利用者		体協スポーツ 教室利用者		合計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
30		60,479	21,859	42,698	51,039	2,971	12,904	2,700	5,933	108,848	91,735
計		82,338		93,737		15,875		8,633		200,583	
29		61,675	22,747	43,151	50,641	3,641	13,127	4,813	6,351	113,280	92,866
計		84,422		93,792		16,768		11,164		206,146	

イ 目的・種目別利用状況

区 分	目 的 ・ 種 目	利用回数 (コマ数)	利用者数
個 人 利 用	卓 球	— 回	25,591 人
	トレーニング	—	53,221
	弓 道	—	3,349
	そ の 他 (リズム体操・ダンス等)	—	177
	小 計	—	82,338
団 体 利 用	バレーボール	316	5,919
	バドミントン	739	13,274
	バスケットボール	182	5,955
	テ ニ ス (硬式・ソフト)	276	2,617
	卓 球	259	13,581
	フットサル	314	6,551
	剣道・居合道・柔道	247	5,225
	合気道・空手・太極拳	783	17,084
	そ の 他 (リズム体操・ダンス等)	703	20,370
	会 議 室	325	3,161
小 計	4,144	93,737	
体 力 づ くり 教 室 等 (教育委員会主催事業)	体力づくり教室 (16教室)	478	14,658
	短期講座 (3 講座)	12	243
	トレーニング指導 (利用者講習)	87	887
	体力測定・診断	43	87
	小 計	620	15,875
ス ポ ー ツ 教 室 (体育協会主催事業)	スポーツ教室 (14教室)	489	8,633
合 計			200,583

## 2 屋内温水プール

### (1) 開催事業

教室名	定員 (各期)	期・回数	参加人員		対象者・摘要		
			男	女			
体カづくり 教室	親子水泳教室(20組)	40 <sup>人</sup>	3期延べ28回	140 <sup>人</sup>	282 <sup>人</sup>	3歳児と保護者	
	幼児水泳教室	30	3期延べ27回	450	213	4・5・6歳児	
	小学生水泳教室	30	3期延べ28回	351	380	クロールで25m 泳げない小学生	
	アクアウォー キング教室	月曜日コース	60	3期延べ25回	—	989	18歳以上の女性
		火曜日コース	35	3期延べ28回	—	721	
	アクアビクス教室	60	3期延べ25回	—	1,084		
健康水泳教室	60	3期延べ25回	140	632	50歳以上の人		
スポーツ教室(5教室)	年間99回 定員4,050人			1,308	1,934	体育協会主催	
小計				2,389	6,235		
合計				8,624			

### (2) 年度別利用状況

年度	一般	構成比	高校生以下	構成比	計	公開日数	1日平均 利用者数
30	36,026 <sup>人</sup>	72.6 <sup>%</sup>	13,566 <sup>人</sup>	27.4 <sup>%</sup>	49,592 <sup>人</sup>	276 <sup>日</sup>	180.0 <sup>人</sup>
29	35,640	73.1	13,113	26.9	48,753	277	176.0

### 3 勤労者体育センター

#### (1) 開催事業

##### 体力づくり教室

教室名		定員 (各期)	期・回数	参加人員		対象者
				男	女	
女性体操教室	水曜日コース	120 <sup>人</sup>	3期延べ30回	— <sup>人</sup>	994 <sup>人</sup>	18歳以上の女性
	木曜日コース	120	3期延べ30回	—	1,021	
健康体操教室		120	3期延べ30回	130	1,224	60歳以上の人
小計				130	3,239	
合計				3,369		

#### (2) 利用状況

##### ア 年度別利用状況

(単位 人)

区分 年度	個人利用者		団体利用者		体力づくり教室 利用者		スポーツ教室 利用者		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
30	3,896	2,451	12,162	11,432	130	3,239	170	184	16,358	17,306
計	6,347		23,594		3,369		354		33,664	
29	4,365	2,195	12,605	11,581	123	3,265	213	208	17,306	17,249
計	6,560		24,186		3,388		421		34,555	

イ 目的・種目別利用状況

区 分	目 的 ・ 種 目	利用回数 (コマ数)	利用者数
個 人 利 用	卓 球	— 回	4,308 人
	トレーニング	—	1,999
	そ の 他	—	40
	小 計	—	6,347
団 体 利 用	バレーボール	89	1,621
	バドミントン	375	3,848
	バスケットボール	322	5,702
	体 操	55	1,279
	ソフトバレー	53	546
	卓 球	24	1,014
	フェンシング	58	881
	バウンドテニス	106	750
	ダ ン ス	68	1,008
	太 極 拳	57	1,098
	柔 道	10	1,236
	剣 道	30	1,718
	そ の 他	100	2,893
小 計	1,347	23,594	
体カづくり教室	体カづくり教室 (3教室)	90	3,369
ス ポ ー ツ 教 室	スポーツ教室 (1教室)	30	354
合 計			33,664

4 香陵武道場

(1) 公開教室

区 分	回 数	参加人員		摘 要
		男	女	
ス ポ ー ツ 教 室 (5教室)	3期延べ190回	人 682	人 1,435	体育協会主催
計		2,117		



## (2) 種目・年度別利用状況

(単位 人)

練習場 種目 年度	剣道場・柔道場									弓道場	合計
	剣道	空手	なぎなた	居合道	体操・ダンス	柔道	太極拳	合気道	その他	弓道	
30	3,742	1,671	682	1,043	2,904	8,195	2,195	461	1,760	5,024	27,677
29	3,673	898	689	1,111	2,637	8,341	2,088	362	2,728	5,441	27,968

## 5 戸田B&amp;G海洋センター

戸田地区におけるスポーツ・レクリエーションの拠点として、また、地域に密着した親しまれる施設として利用に供した。

## (1) 開催事業

教室名	定員 (各期)	期・回数	参加人員		対象者		
			男	女			
キッズ水泳教室	20 <sup>人</sup>	1期15回	74 <sup>人</sup>	68 <sup>人</sup>	5・6歳児		
小学生水泳教室	Aコース	1期10回	96	157	小学生		
	Bコース	1期10回	75	111			
プール 夏休み短期水泳教室	前期	Aクラス	30	1期5回	43	78	年長～小学生
		Bクラス	30	1期5回	58	66	
	中期	Aクラス	30	1期5回	49	86	
		Bクラス	30	1期5回	64	92	
	後期	Aクラス	30	1期5回	55	82	
		Bクラス	30	1期5回	50	97	
アクアウォーキング教室	30	1期7回	0	101	18歳以上の人		
合計			564	938			

## (2) 利用状況

## ア 年度別利用状況

(単位 人)

区分 年度	プー ル				体 育 室		合 計
	個人利用者		体力づくり教室		団体利用者		
	男	女	男	女	男	女	
30	714	1,559	564	938	3,719	4,451	11,945
	2,273		1,502		8,170		
29	1,062	1,488	742	1,114	5,196	4,234	13,836
	2,550		1,856		9,430		

## イ 目的・種目別利用状況

区 分	目 的 ・ 種 目	利用回数	利用者数
個 人 利 用	プール	— 回	2,273 人
団 体 利 用	バレーボール	149	2,093
	バドミントン	270	270
	バスケットボール	109	661
	卓 球	8	70
	ミニバス	49	858
	柔 道	120	1,769
	空 手	12	57
	そ の 他 (ダンス・カローリング等)	94	1,713
	会 議 室	11	679
	小 計	822	8,170
体力づくり教室 (教育委員会主催事業)	体力づくり教室 (10教室)	72	1,502
合 計			11,945

## 6 屋外施設の年度別利用状況

区分 年度	市営野球場		大岡市民運動場		西部市民運動場		中瀬市民運動場	
30	155 <sup>回</sup>	11,785 <sup>人</sup>	619 <sup>回</sup>	32,471 <sup>人</sup>	436 <sup>回</sup>	12,498 <sup>人</sup>	529 <sup>回</sup>	8,002 <sup>人</sup>
29	117	9,201	554	27,139	469	14,174	547	8,697

区分 年度	愛鷹運動公園テニスコート (12面)	大岡公園テニスコート (4面)	戸田テニスコート (2面)
30	65,782 <sup>人</sup>	28,919 <sup>人</sup>	513 <sup>人</sup>
29	59,856	29,121	404

## 第7節 図 書 館

### 1 市立図書館協議会

図書館法第14条に基づき、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関として設置している。本年度は2回開催した。

委員9人（内2人は公募委員）

### 2 資料整備

利用者が求める様々な情報に対応するため、一般書、児童書、参考調査図書及び視聴覚資料を整備した。

#### (1) 図書資料

##### ア 区分別

区 分		購 入 数	金 額	蔵 書 数
本 館	一般	7,621 <sup>冊</sup>	20,622,195 <sup>円</sup>	380,383 <sup>冊</sup>
	児童	1,858	3,245,966	74,513
戸 田	一般	402	593,434	24,445
	児童	344	666,553	12,159
自 動 車 文 庫	一般	361	514,101	3,371
	児童	142	139,017	1,771
地 区 セ ン タ ー	一般	1,690	2,545,098	28,745
	児童	2,090	2,282,370	39,556
計	一般	10,074	24,274,828	436,944
	児童	4,434	6,333,906	127,999

## イ 分 類 別

(単位 冊)

分 類	購 入 数		蔵 書 数	
	一 般	児 童	一 般	児 童
総 記	335	44	23,137	1,187
哲 学	443	33	18,352	746
歴 史・地 理	1,016	167	54,899	4,485
社 会 科 学	1,412	171	76,809	5,805
自 然 科 学	971	270	27,503	10,802
工 学	1,224	86	36,035	3,986
産 業	433	209	16,775	2,599
芸 術	995	176	39,432	4,823
語 学	127	48	7,658	1,197
文 学	3,116	1,588	131,747	36,539
洋 書	2		3,429	
絵 本		1,603		53,135
紙 芝 居		39		2,695
点 字			1,168	
計	10,074	4,434	436,944	127,999

## (2) 視聴覚資料

## ア 区 分 別

区 分	購 入 数	金 額	所 蔵 数
本 館	305 <sup>点</sup>	1,665,966 <sup>円</sup>	41,967 <sup>点</sup>
戸 田	16	174,300	1,087
計	321	1,840,266	43,054

## イ 分 類 別

(単位 点)

分 類	購 入 数	所 蔵 数
ビ デ オ		11,335
D V D	165	5,741
L D		1,062
C D	156	23,116
カ セ ッ ト		1,780
16ミリフィルム		20
計	321	43,054

## 3 館内・館外業務

本館及び戸田図書館では、一般書、児童書、視聴覚資料、郷土資料、新聞、雑誌等の閲覧・貸出しなどを行うとともに、予約・リクエストサービス、レファレンスサービス、コピーサービスなどを行った。また、市街地周辺部の利用者に対して自動車文庫や地区センターの図書室において貸出しを行った。

## (1) 入 館 者 数

区 分	年 度	開館日数	入 館 者 数		
			年 間	1月平均	1日平均
本 館	30年度	297 <sup>日</sup>	366,797 <sup>人</sup>	30,566 <sup>人</sup>	1,235 <sup>人</sup>
	29年度	294	371,732	30,978	1,264
戸 田	30年度	284	9,221	768	32
	29年度	283	10,741	895	38

## (2) 貸出利用者数、貸出数

(視聴覚資料は館内ブース利用も含む)

区 分	年 度	利用者数	貸 出 数		
			図書資料	視聴覚資料	計
本 館	30年度	257,029 <sup>人</sup>	691,635 <sup>冊</sup>	95,899 <sup>点</sup>	787,534 <sup>冊・点</sup>
	29年度	255,379	695,901	101,757	797,658
戸 田	30年度	3,004	6,973	457	7,430
	29年度	3,655	7,919	748	8,667
自 動 車 文 庫	30年度	3,251	14,202	—	14,202
	29年度	3,439	15,703	—	15,703
地 区 セ ン タ ー	30年度	11,045	43,177	—	43,177
	29年度	10,802	41,934	—	41,934
計	30年度	274,329	755,987	96,356	852,343
	29年度	273,275	761,457	102,505	863,962

## (3) 自動車文庫

市内45か所のステーション及び小学校2校を巡回して、市街地周辺部の利用者及び小学生への図書貸出しを行った。

年 度	出勤日数	貸 出 数		
		年 間	1月平均	1日平均
30年度	184 <sup>日</sup>	14,202 <sup>冊</sup>	1,184 <sup>冊</sup>	77 <sup>冊</sup>
29年度	183	15,703	1,309	86

## (4) 郵送・宅配・団体貸出

図書館に来館することが困難な利用者（身体障害者等）を対象に郵送や宅配貸出しを行い、登録された利用者（142人）の便宜を図った。また、沼津特別支援学校等に図書の団体貸出しを行った。

年 度	郵 送		宅 配		団 体	
	利用件数	貸 出 数	利用件数	貸 出 数	利用者数	貸 出 数
30年度	25 <sup>件</sup>	30 <sup>冊</sup>	278 <sup>件</sup>	1,138 <sup>冊</sup>	32 <sup>団体</sup>	9,061 <sup>冊</sup>
29年度	11	22	329	1,191	30	10,529

(5) レファレンスサービス

職員が利用者の求める資料の検索や情報の収集を支援する、レファレンスサービスを行った。

(単位 件)

年 度	窓 口	電 話	文 書	E-mail	計
30年度	7,506	141	1	5	7,653
29年度	8,992	135	1	6	9,134

(6) 相 互 貸 借

各図書館の間で相互に図書資料の貸借を行い、利用者の要求に応じている。資料の貸借は、県立中央図書館の協力車に依頼、郵送、宅配便の方法から選択して行った。

ア 貸 出

年 度	県内図書館		県外図書館		計	
	件 数	貸出数	件 数	貸出数	件 数	貸出数
30年度	783 <sup>件</sup>	974 <sup>冊</sup>	7 <sup>件</sup>	7 <sup>冊</sup>	790 <sup>件</sup>	981 <sup>冊</sup>
29年度	892	1,100	13	26	905	1,126

イ 借 受

年 度	県内図書館		県外図書館		計	
	件 数	借受数	件 数	借受数	件 数	借受数
30年度	993 <sup>件</sup>	1,230 <sup>冊</sup>	27 <sup>件</sup>	31 <sup>冊</sup>	1,020 <sup>件</sup>	1,261 <sup>冊</sup>
29年度	983	1,141	80	90	1,063	1,231

(7) 静岡県東部地域図書館間の相互利用

県東部地域の公共図書館相互利用協定により、各市町の利用者は、直接、協定先の図書館から図書資料の貸出しを受けることができる。

協定先は、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、富士市、御殿場市、下田市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、南伊豆町、松崎町、函南町、清水町、長泉町及び小山町の10市6町で、平成31年3月31日現在の登録者数は、19,970人である。



## 4 自主事業

### (1) 図書館講座等

図書館活動の一環として、図書館資料の提供と関連をもたせ、資料の活用を促進し、市民の読書活動推進の一助となるよう講座等を開催した。

#### ア 文芸講座

回	月日	内 容	講 師
1	6.1	「落語でも江戸の町でもコミュニティの中心人物 ～世話好き？大家、物知り？ご隠居～」	らくご笑クササイズ指南役 (株)MOTコミュニケーション 代表取締役 布村 敦
2	6.15	「江戸は商売、サービスの事始めの時代 ～商家の旦那、番頭、丁稚の1日～」	
3	6.29	「戦のない平和な時代の器用で清貧の武家たち ～庶民にも愛された奉行やお侍～」	

参加者 1日平均 103人 会場 視聴覚ホール 開催時間 18:45～20:45

#### イ 子どもの本を知る講座

回	月日	内 容	講 師
1	7.8	「ようこそ。はる なつ あき ふゆ ～自然がすき！絵ずかん・絵本をたのしもう～」	沼津市立金岡中学校 読み聞かせ ボランティアグループ代表 藤岡 祐子
2	7.15	「翻訳書を愉しむ ～本からはじまる世界への旅～」	フリーランス翻訳者 河本 裕子
3	7.22	「子どもの本が教えてくれた ～知る・学ぶ・考える・そして楽しむ～」	静岡県子ども読書アドバイザー 須藤 景子

参加者 1日平均 31人 会場 第1・2講座室 開催時間 13:30～15:00

#### ウ 夏休み子ども講座

月日	内 容	講 師
7.29	「YouTuberになりたい！そんな気持ちを大切に するための子ども時代からのインターネットと の向き合い方」	FULMA株式会社 YouTuber Academy講師 中條 武

参加者 54人 会場 視聴覚ホール 開催時間 13:30～15:00

エ 読書週間講演会

月 日	内 容	講 師
11.18	「ジョン万次郎漂流の島 ～書籍から現場へ～」	探検家 高橋 大輔

参加者 116人 会場 視聴覚ホール 開催時間 13:30～15:00

オ 読みメン講座

月 日	内 容	講 師
31.1.27	「俺の絵本講座 ～おすすめ絵本と読み聞かせテクニック～」	絵本出版社「グランママ社」 編集長 田中 尚人

参加者 31人 会場 第1・2講座室 開催時間 13:30～15:00

(2) 展 示 事 業

期 間	名 称	内 容
4.26～6.5	「沼津市立図書館開館25周年・ 沼津文庫設立130周年記念展示」	沼津市立図書館が開館して25周年、県内初の公立図書館として沼津文庫が誕生して130周年を迎えたことを記念し、沼津の図書館の歴史について展示
7.11～8.19	夏休み企画展 「みつけた！ ～本・絵本の中 の美味しいものたち～」	幼稚園・学校・地域で読み聞かせを行っているボランティアの協力により、テーマに沿った本などの展示や読み聞かせを実施
10.17～11.18	読書週間企画展 「伊豆鳥島と漂流者たちの物語」	読書週間講演会に登場する伊豆鳥島や江戸期の漂流者たち、関連する文学作品を展示。講演会講師の高橋大輔氏のこれまでの探検の記録もあわせて展示
31.2.15～ 3.24	富士山の日写真展 「富士山と野鳥写真展」	裾野市立富士山資料館が撮影した「富士山」の写真10点と富士山周辺で見ることができる「野鳥」の写真18点に加え野鳥の生息範囲や特徴もあわせて展示

### (3) その他事業

#### ア 「沼津市子ども読書活動推進計画」関連事業

##### (ア) 講演会「図鑑ブームの火付け役「くらべる図鑑」の魅力」

開催日 4月22日

講師 小学館「くらべる図鑑」編集者 廣野 篤

参加者 57人

##### (イ) 夏休みわくわく図書館

人形劇や読み聞かせ、身近な材料を使った工作など、本に関連したさまざまな催しを開催した。

開催日 8月2日 参加者 224人

#### イ 夏休み図書館子ども探検隊

4年生以上の小学生を対象に、図書館の仕事を体験することによって、図書館のしくみや本の調べ方などを学び、将来の利用者を育てることを目的として開催した。

開催日 本館 7月24・25・26・31日、8月7・8・9日

戸田図書館 7月25・26・27・31日

参加者 本館 42人、戸田図書館 10人

#### ウ 上映会

視聴覚資料の有効利用を図る観点から、本年度から毎週火曜日に名作映画を中心に上映会を開催した。戸田図書館では夏季と春季に児童向けアニメの上映会を開催した。

本館 上映回数 49回 参加者 1回平均 53人

戸田図書館 上映回数 2回 参加者 1回平均 23人

#### エ ビブリオバトル小中学生大会 in 沼津

小中学生たちに、本と人との出会いを楽しむ機会を提供するため、小中学生たちによる新しい形の書評合戦を開催した。

開催日 12月2日

参加者 発表者 43人、観戦者 延べ237人

#### オ おはなしフェスティバル

読み聞かせボランティアの協力を得て、幼児・小学生を対象とした絵本の読み聞かせや親子の工作の会を開催した。

開催日 12月8日 参加者 156人

## 5 図書館情報ネットワーク事業

本館と戸田図書館及び市内16か所の地区センターをコンピュータ回線でネットワーク化することで、図書館の分館的な機能を整えた。また、パソコンや携帯電話から図書館資料の検索や予約が可能な図書館ホームページやFacebookによる情報提供を行うことで、利用者の利便向上と図書館資料の利用促進を図った。

ホームページアクセス件数	333,308件
オンライン予約件数	27,205件

## 第8節 市民文化センター

### 1 市民文化センター

公益財団法人沼津市振興公社を指定管理者として、文化芸術の鑑賞・交流の場として利用者の立場に立った利用しやすい施設となるように努めた。

#### (1) 市民文化センター運営審議会

市民文化センターの円滑な運営を図るため、委員7人による審議会を2回開催し、施設の利用促進などについて審議した。

## (2) 利用状況

区 分	可 能		使 用					利用人数
	日 数	回 数	日 数	率	件 数	回 数	率	
大 ホール	318 <sup>日</sup>	954 <sup>回</sup>	177 <sup>日</sup>	55.7 <sup>%</sup>	190 <sup>件</sup>	425 <sup>回</sup>	44.5 <sup>%</sup>	105,800 <sup>人</sup>
小 ホール	288	864	212	73.6	245	490	56.7	48,605
ホールの計	606	1,818	389	64.2	435	915	50.3	154,405
大会議室	338	1,014	169	50.0	179	327	32.2	16,200
第1練習室	338	1,014	146	43.2	153	240	23.7	14,187
第2練習室	338	1,014	92	27.2	95	179	17.7	12,598
第3練習室	338	1,014	141	41.7	160	250	24.7	4,860
第1会議室	338	1,014	82	24.3	84	142	14.0	1,549
第2会議室	338	1,014	100	29.6	108	147	14.5	2,826
第3会議室	338	1,014	149	44.1	172	242	23.9	3,928
第4会議室	338	1,014	180	53.3	201	303	29.9	9,949
第5会議室	338	1,014	188	55.6	226	321	31.7	10,328
第6会議室	338	1,014	116	34.3	119	227	22.4	1,461
第7会議室	338	1,014	33	9.8	33	71	7.0	786
特別会議室	338	1,014	20	5.9	20	42	4.1	50
会議室計	4,056	12,168	1,416	34.9	1,550	2,491	20.5	78,722
1リハーサル室	337	1,011	253	75.1	316	435	43.0	7,278
2リハーサル室	338	1,014	277	82.0	428	524	51.7	6,657
リハーサル室計	675	2,025	530	78.5	744	959	47.4	13,935
展示室	338	338	73	21.6	73	73	21.6	14,418
合 計	5,675	16,349	2,408	42.4	2,802	4,438	27.1	261,480